



謹賀新年



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

笠岡市内24地区にあるまちづくり協議会では、地域の皆さんが集まって話し合い、地域の課題解決や魅力づくりに取り組むことで、人とのつながりづくりや元気な地域づくりが行われています。その24協議会のうち、16番目に設立された城見地区まちづくり協議会も4年目を迎えました。11月には、笠岡グランドホテルで活動報告会を行いました。報告会では、城見地区皆様へのアンケートを分析した結果により活動していることに対して、とても良い評価をいただきました。

若い世代が子育てしやすい環境を作る為、安全安心の観点から、学童通路の車の通り抜けを遠慮してもらえような対策を進めています。高齢者の皆様からは、「集える場所があれば」という要望が多く寄せられました。現在、福祉活動として100歳体操を行っており、参加者の方から喜ばれていますが、その支援を続けていきます。高齢者一人暮らし家庭への訪問では「笑顔を届けたい」との声に前向きに協議しています。

近い将来どこでも起こりうるであろう大震災に備えた避難訓練や勉強会も行っているところです。安全意識が高まってきた昨今、自分の身は自分で守るが基本ではありますが、日頃よりご近所誰にでも声掛けできる地域でありたいと考えます。大見山には子ども達により西洋シャクナゲが植樹されました。用之江・茂平・大宜の3ヶ所から登られて、美しい花が咲く頃が楽しみです。望遠鏡で素晴らしい景色を眺めることができますので、気軽に触れ合う場所にして頂きたいと思っております。

城見地区まちづくり協議会は、平成28年度も全地区民が助け合いの気持ちで暮らせるまち、声掛けのできる地域を目指し、色々なご意見ご要望などをお聞かせ頂いて活動を進めていきたいと思っております。

今後とも皆様方のより一層のご指導ご支援ご協力の程お願い申し上げます。

城見地区まちづくり協議会
会長 加藤晃祐



2015年の新年祭

ふれあい部会の活動報告



大見山にシャクナゲ植樹

展望台に続き、頂上付近は一層楽しみが増えました。子ども会が登山に合わせ西洋シャクナゲを植えました。きれいな花が見事に咲きました。来年が楽しみです。



大見山登山ルートへの整備

夏と秋の年2回草刈りを中心に大耳、用之江、茂平の3地区が登山道を、頂上付近は城見台の方々で行っています。「大見山見守り隊」のボランティアも計画中です。

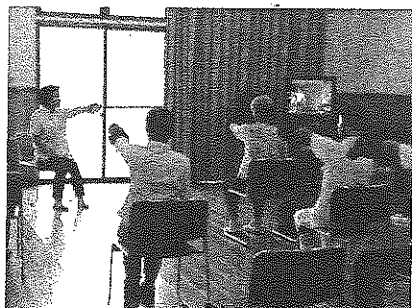
城見台グラウンドにネット設置



アンケートで要望が多かった子どもの遊び場の充実の第1号として、城見台グラウンドに防球ネットとサッカーゴールを設置しました。城見台をはじめ、他地区の子どもたちも利用しています。

100歳体操

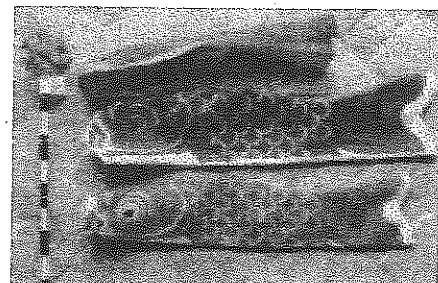
社会福祉協議会の人たちがやっている行事を支援しています。椅子や血圧計をまちづくり協議会で予算化し、獲得しました。



ふれあい喫茶コーナー

高齢者や一人暮らしの人達との絆を深めるため、大耳や城見台で有志の方々により取り組みが開始されています。まち協としてはかわら版で宣伝しています。

城見っ子広場 こどもまつり



こいのぼり

真鯉 緋鯉の型を手書きし、子どもたちが色付けしました。運動会に飾り、にぎやかでした。

社協の人たちが中心に行っている「こどもまつり」に対して支援や協力の要望がありました。まち協としてもふれあい活動の趣旨に合致するものと、できる限りの支援をしました。子どもたちは大変喜んでいました。

安全・安心部会の活動報告

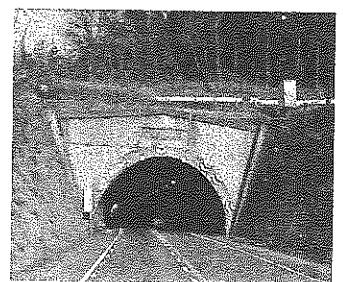
用之江通学路へ新しく交通規制標識

今年度の活動は昨年実施したアンケートをもとに取り組んでいます。その中の一つに子どもの通学路の安全対策があります。城見小学校の東側に信号機が新設されて以後、通学路への車両の進入、通行が大変多くなり危険度が増しました。これに対し部会や役員会で協議し、通行車両へのお願い看板などを設置しました。特に用之江の関係者の方が何日も警察署、市役所と折衝されようやく実現しました。



城見隧道利用者(高校生)に対するアンケート

昨年度の地区内各活動団体との意見交換にて、城見隧道の歩行者・自転車通行帯の狭さ・危険が指摘され改善の必要性が話題となりました。特に2号線を通って笠岡方面に行く高校生の安全が問題視されました。そこで実態把握の為のアンケート調査を実施。その結果を反映させた要望書を作成、公署官庁に安全対策をお願いすべく活動中です。現状が直ちに改善されることは難しいようですが、城見地区民の安全確保のため、できることからということで取り組んでいます。



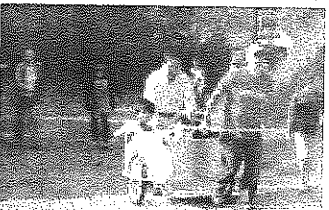
避難・消防訓練 各地区の実状にあった防災活動を実施



「自助」「共助」「公助」の精神のもと、避難訓練を実施しました。避難の手順・避難場所・避難の連絡を体で覚える取り組み。その後、初期消火に役立つよう、消防訓練を実施しました。自身の安全、地域の安全を体で覚えるための活動です。



茂平地区、城見台地区では実際に消火栓からホースを引いて消火訓練を実施。訓練の一環で消火栓を点検したところ設置以来訓練などをしていなかったりでパッキンの劣化が見つかり訓練の必要性を実感しました。



地震や水害などの避難訓練では一人暮らしの人、高齢者への手助け、連絡をどうしたらいいか話し合われました。車椅子の避難が難しい人にはリヤカーがいいということで、各地区にリヤカー1台を置くことにしました。



大耳地区では昨年は子どもの目線からの安全対策の講習会を開きました。「子ども110番の家」の設置後、時間が経ち、留守が多いなど問題点が見つかりました。今年は「普通救命講習会」を実施。AEDの使い方など学習し、受講者は修了証書ももらいました。

大見山山頂での新年祭 2016 開催のご案内

日時：平成28年1月2日(土)10時～10時30分

山頂までの所要時間

各登山口から1時間弱ですが、余裕を持って登ってください。

山頂での行事

新年の挨拶、乾杯、温かい飲み物等のまかないを予定していますので、老若男女ご近所お誘いのうえご参加ください。

当日雨天の場合の予定

雨天の場合は上記時間で用之江公会堂1階で行います。尚、雨天の判断は前夜雨が降り続いていた場合と、当日朝7時の時点で雨が降っている場合とします。



お問い合わせは

ふれあい部会 永井

携帯電話 090-4106-2375 まで

まちづくり協議会、自治会、各種団体の皆さんは各地区の常会、集会等を利用して大見山新年祭の開催の連絡をお願いします。

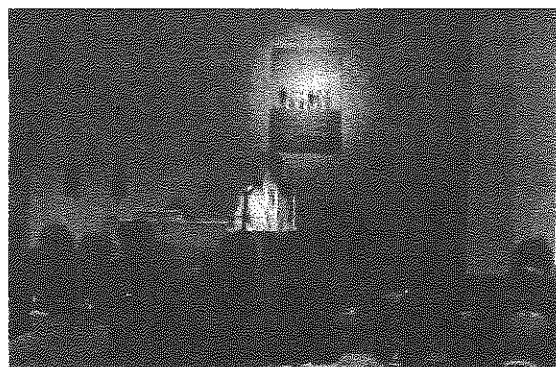
城見まちづくり協議会の活動に評価と期待

まちづくり活動報告会で活動事例を発表

平成27年度のまちづくり活動報告会が11月にあり、城見地区をはじめ、4つのまち協が発表しました。城見まちづくり協議会は、加藤会長が発足以来3年間の取り組みを4つにまとめ、発表しました。

- ①地区民のふれあいと交流を通して「顔の見える絆づくり」を行い、互助精神の醸成を目指すふれあい部会
- ②安全 安心な地域づくりをすすめる安全 安心部会
- ③まちづくり協議会の活動内容や、地域の情報を広く伝える広報部会
- ④城見の歴史を知ること、ふるさとの良さを再認識してもらう郷土史編集委員会

これらの発表に他地区のふれあいから「お互いをよく知るための取り組みをこれからも頑張ってください。3年計画もいいね」など、28人の方から評価する声や期待が寄せられました。



今後の予定

- | | |
|--------|-----------|
| 1月 2日 | 大見山登山と新年祭 |
| 1月 | 郷土史編集委員会 |
| 1月 22日 | 事務局会議 |
| 2月 12日 | 役員会 |

城見地区まちづくり協議会

笠岡市用之江 334 番地 TEL0865-66-5133

毎週金曜日の午前9時から12時まで在室しております。
お急ぎのご用件等は、事務所の郵便受けをご利用下さい。